



# 『日本語教育』172号 (2019年4月発行) 特集テーマ

## 投稿募集

新規投稿申込期日：  
2018年8月20日(月)  
日本時間 23:59

## 日本語教師養成・研修の新しい役割と可能性 —多様な教育現場，学習者に対応する教師—

本特集は、日本語教育学会の理念体系の社会的研究課題2「日本語人材 複言語人材育成のための日本語教師養成 研修の理念と枠組みの再構築」にもとづき、特に多様化する学習者に対応できる教師の養成、研修に焦点をあてます。多様な学習者（地域や国、年齢、学習目的）は日本語学習の目的（ゴール）やニーズ、学習者をとりまく文脈が異なり、教師にはそれを的確に把握する力が必要です。本特集では、国内外の初等中等高等教育や日本語学校における学習者、地域における学習者、介護士、ビジネス関係者など多様な学習者の育成に関する実践 研究に関する論考を対象とし、日本語教師養成 研修の新しい役割と可能性について考えたいと思います。

今回の特集では、「教師養成 研修」につなげる形で議論する論文を募集します。例えば、実習や研修についての実践報告、評価研究、教師の省察、クラスルームリサーチ、教師の資質や能力、教師の役割意識、ビリーフ、学習者の日本語運用能力の育成、教師の力量形成、教師への支援の研究なども挙げられます。国内外の会員の皆様からの意欲的なご投稿をお待ちしています。

学会誌委員会 特集担当：徳井厚子（代表），池田広子，西川朋美